

.....  
2018年1月19日（金）開催 財務報告実務検定・会員向けセミナー

～1つの勘定科目を実務家視点で深掘り～

「ソフトウェア」の内部統制から開示までを1時間でマスター

&

「リース会計」の内部統制から開示までを1時間でマスター  
.....

【プログラム】

（第一部）

時間 14：30～15：30

～1つの勘定科目を実務家視点で深掘り～

「ソフトウェア」の内部統制から開示までを1時間でマスター

講師： 板谷会計事務所 所長

公認会計士 板谷 憲和 様

（第二部）

時間 15：40～16：40

～1つの勘定科目を実務家視点で深掘り～

「リース会計」の内部統制から開示までを1時間でマスター

講師： 信貴威宏公認会計士事務所 所長

公認会計士 信貴 威宏 様

【ご案内】

このたび財務報告実務検定事務局は、上記の2本立てのセミナーを開催いたします。

第一部では、板谷会計事務所 所長 公認会計士 板谷 憲和 様をお招きし、「ソフトウェア」の内部統制から開示までを1時間でマスター」と題して、ソフトウェアの会計・開示について詳しく解説していただきます。IT化の進展に伴い、ソフトウェアの重要性は年々高まるばかりです。また、インターネットの普及や技術の進歩によりクラウド型のサービスが広まる中、ソフトウェアのあり方も変わってきています。一方で、ソフトウェアには有形固定資産のような「形」があるわけではないことから、有形固定資産とは異なる管理をしなければなりません。このような特殊性に留意してソフトウェアに係る内部統制を構築したうえで会計処理を行う必要があります。本セミナーでは、企業会計審議会「研究開発費等に係る会計基準」、会計制度委員会報告第12号「研究開発費及びソフトウェアの会計処理に関する実務指針」、実務対応報告第17号「ソフトウェア取引の収益の会計処理に関する実務上の取扱い」といったソフトウェアに関する会計基準に基づき、ソフトウェアを開発して販売す

る「販売目的のソフトウェア」と自社で利用するために開発する「自社利用のソフトウェア」に分けてソフトウェアの会計処理について解説していただきます。また、セミナーでは内部監査の視点から会長通牒平成 23 年第 3 号「循環取引等不適切な会計処理への監査上の対応等について」のポイントについても解説していただきます。ソフトウェアを取り扱う企業では必ず“気づき”があるはずです。

第二部では、大手監査法人在籍時代から多種多様な企業を支援し、その丁寧な指導に定評がある信貴威宏公認会計士事務所 所長 公認会計士 信貴 威宏 様をお招きし、『～1つの勘定科目を実務家視点で深掘り～「リース資産」の内部統制から開示までを 1 時間でマスター』と題して、「リース資産」に関する会計実務・開示実務について詳しく解説していただきます。企業活動において資産は収益を生む源泉ですが、資産がもたらす便益は必ずしも「所有」することでしか享受できないわけではありません。むしろ、資産を所有することにはデメリットもあることから、リースを上手に活用する必要があります。本セミナーでは、リースのメリット・デメリットから、所有権移転外ファイナンス・リースの判定フローチャート、所有権移転外ファイナンス・リースとオペレーティング・リースの会計処理・開示の違い、利子込み法と利子抜き法の違い、リース債務の開示といったベーシックな論点に加え、セール・アンド・リースバックの考え方についても解説していただきます。固定資産管理の責任者・担当者や経理の管理職の方の実務に直結するセミナーです。

■開催日時：2018年1月19日（金）14：30～16：40（受付 14：15～）

■開催場所：エムワイ会議室 高田馬場 RoomB

東京都新宿区高田馬場1-29-9 TDビル3F

JR 山手線・西武新宿線「高田馬場」駅 戸山口 徒歩2分

東京メトロ東西線「高田馬場」駅 5番出口 徒歩5分

<http://meijiyasuda-life-hall.com/kashikaigishitsu-takadanobaba/access.html>

■定員：40名（定員になり次第締切）

■受講料：財務報告実務検定会員及びIPO実務検定会員の方は無料

上記以外の方は10,800円

■申込方法：セミナーへの**お申込み**はこちらからお願いいたします。

<http://zaimuhokoku.jp/seminar/20180119/index.html>

■主催：財務報告実務検定事務局（一般社団法人日本IPO実務検定協会内）

【講師略歴】

(第一部)

板谷 憲和 (いたや のりかず) 様  
板谷会計事務所 所長

有限責任監査法人トーマツにて主に上場会社の会計監査に従事。2013年に板谷会計事務所を設立。独立後は主に上場会社の決算支援(日本基準)に従事。決算支援で関与した企業はIT、金融、製造、商社等。

また、企業価値算定・財務DD、決算支援(IFRS/米国会計)、業務プロセス改善、事業再生支援などにも従事。上場準備会社の社外監査役に就任(複数社)。

(第二部)

信貴 威宏 (しぎ たけひろ) 様  
信貴威宏公認会計士事務所 所長

早稲田大学商学部卒業。有限責任監査法人トーマツにて約10年間、会計監査のみではなくコンサルティングや講師業等の幅広い業務に従事。2015年7月に公認会計士として信貴威宏公認会計士事務所を設立。信貴威宏公認会計士事務所は決算支援・内部監査支援・IPO準備支援・監査法人対応のみではなく、会計やコンプライアンス等の社内研修など幅広い業務について高品質のサービスを提供。

【エムワイ会議室 高田馬場 Room B 地図】

